

附属教育実践総合センター


ICTを活用した「教育実習支援講座」を実施しました(齊城特任教授)

教育学部附属教育実践総合センター 地域実習担当の齊城勝美特任教授が、5月末から教育実習に参加する3回生を対象に、ICTを活用した「教育実習支援講座」を実施しました。


コロナ禍において、GIGA スクール構想による一人一台端末の整備が一気に進み、デジタル化によって児童生徒の教育環境が大きく変わってきています。今回は、タブレットや、リアルタイム授業支援アプリ「MetaMoJi Classroom (メタ文字クラスルーム)」を実際に使ってみることで、ICTを活用する場面を想定し、学生同士が生徒役と先生役に分かれてそれぞれの立場から体験してみることに主眼をおき、“メタ文字”使用体験をしました。


センターでは、今後も、教育実習はもとより、実際に教職に就いてから授業実施時のツールの1つとしてデジタル技術を選択できるような支援していく活動を計画する予定です。


参加した学生の皆さんの感想


 タブレットを使用して授業を進めている学校が増えているなかで、実習につながる実践的な練習ができると思い、研修に参加しました。はじめのうちはツールの使い方やレイヤーの役割など基本的なことを学び、後半から先生役・生徒役に分かれて、より実際の授業に近い形で操作の練習をすることができました。児童生徒ひとりひとりが考える際にも、グループワークを行う際にもタブレットを使用することで学び方が広がると感じこのような実践的な練習ができて非常に良かったと感じました。




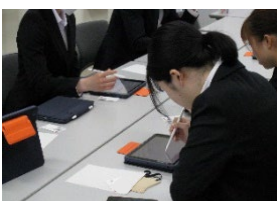
 今回、Meta-Moji の使い方を教えてみて、より使い方の理解が深まりました。実習で子どもの対話的であったり、個別的であったりする授業を展開していくための勉強になりました。


 実習に向けて良い練習ができたのですが、一番の驚きは児童生徒はこれを使うようにしているということです。実習では私は最も使い方を知らない人になる可能性があるため、しっかり練習しておこうと思います(自分のタブレット等で)。

 自分も普段からタブレットを使っているけど、それとはまた異なる使い方を学べたのでとてもよい体験になりました。

 今日くるきっかけとなったのは実習校で行われている授業を交流実習で少し観察し、ICTをほとんどの先生が使われていたからです。今日、実際に使ってみてたくさんの機能を覚えなければならないと感じ、少し不安にもなりましたが、友人とも協力して使いこなせるようになりたいと思います。

 タブレット研修を受けてみて、自分が今まで授業で使ってこなかったのがタブレットというだけで新鮮でした。タブレットを操作して教材をつくるのはパワーポイントに似ているなど感じた。共有したり、その教材を活かした授業というのが難しいのだと思った。実際に実習に行った時にこのタブレット教材を使うかわからないが、対応しておきたい。操作の仕方を1回学んでおいて良かった。



 今回は実習前にタブレットのアプリを試させてもらえるということで参加した。ICT機器の活用ということに不安があったが、参加したことでほんの少し知ることができて基本的な使用はできそうだと思うことができた。このような機会があることは様々なことがわからないといった不安を少し解消されることにつながると思う。

【参考サイト】…文部科学省において作成されたサイト

○ [子供の学び応援サイト](#) ~学習支援コンテンツポータルサイト

※児童生徒の学習支援のため、自宅等で活用できる無償の教材や動画等のリンクを紹介しています。

○ [StuDX Style](#)

※一人一台端末の更なる利活用の促進に向けて、全国の学校や自治体から提供された端末の活用方法に関する優良事例等を数多く紹介しています。

